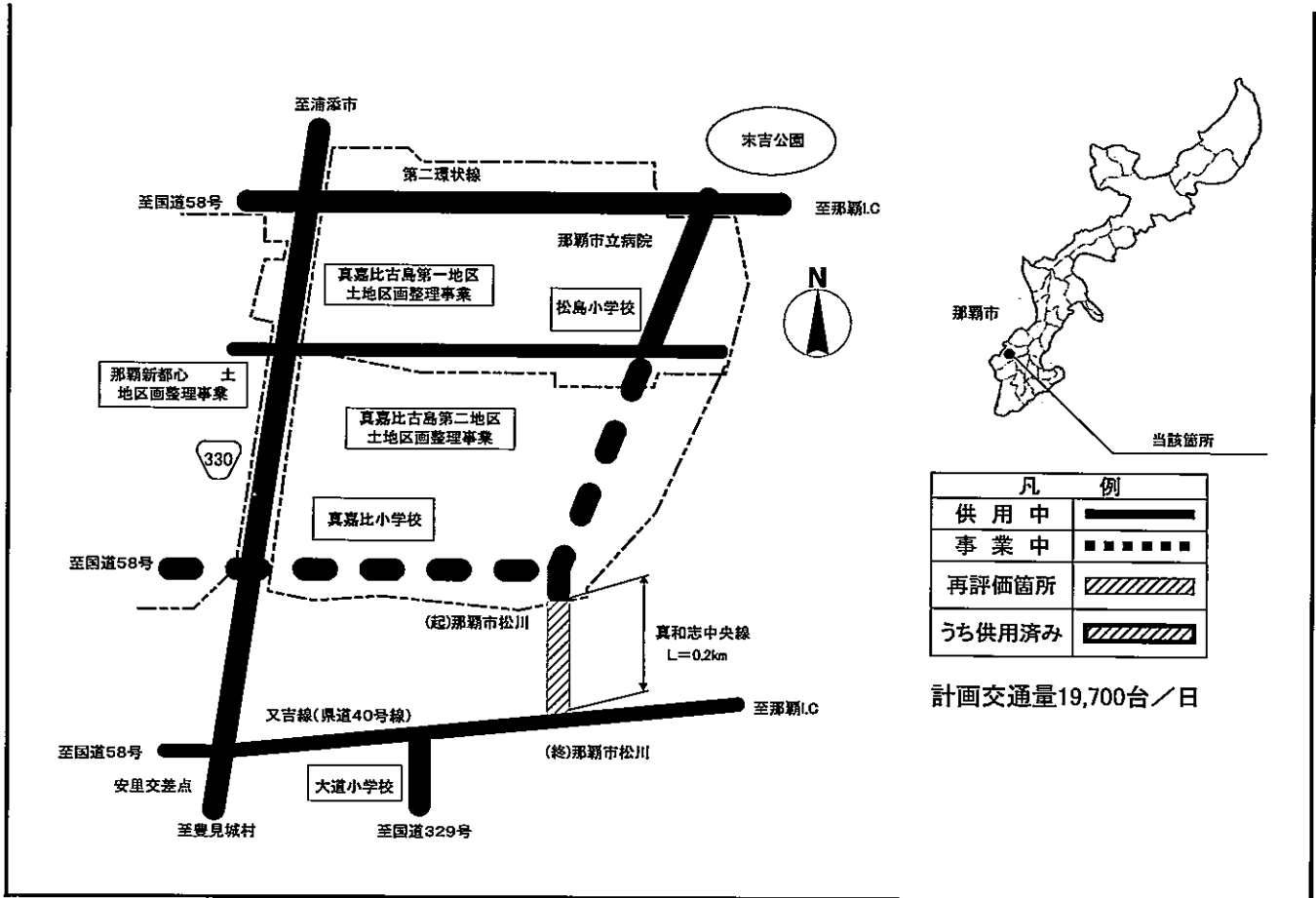


再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：沖縄総合事務局建設行政課

担当課長名： 村山 継

事業名	まわしちゅうおう 真和志中央線		事業区分	街路	事業主体	沖縄県那覇市	
起終点	自 沖縄県那覇市字松川 至 沖縄県那覇市字松川			延長	0.2 km		
事業概要	真和志中央線は、国道330号と平行に真嘉比古島区画整理事業地区内を通過し、第二環状線と県道40号線を連絡する幹線道路である。国道330号のバイパス的役割を果たし、主要幹線道路の交通渋滞の緩和を図ることを目的としている。						
H6年度事業化	S30年度都市計画決定 (H4年度変更)		H7年度用地着手		H12年度工事着手		
全体事業費	約23億円		事業進捗率	88%	供用済延長	0 km	
計画交通量	19,700台/日						
費用便益 分析結果	B/C (事業全体)	6.4	総費用 (事業全体)	3/25億円		総便益 (事業全体)	160/160億円
	(機轉)	53.3	事業費	3/25億円		走行時間短縮便益	154/154億円
			維持管理費	0/0億円		走行費用減少便益	6/6億円
						交通事故減少便益	0/0億円
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・都市再生（区画整理事業との連携あり） ・国土地域（現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する） 						
関係する地方公共団体等の意見	第二環状線と県道40号線を連絡して国道330号線のバイパス的役割を果たすことにより、交通渋滞の緩和と利便性の向上を期待している。また、車道と分離した歩行空間を確保することにより、児童生徒やお年寄り等を含む歩行者の安全性の確保を求めている。						
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	天久新都心の開発等により、国道330号線の交通渋滞が慢性化し、県民生活及び経済活動に悪影響を及ぼしている。						
事業の進捗状況、残事業の内容等	これまで（平成15年度末）に事業費ベースで88%の進捗で、用地取得率も83%まで達している。未買収用地は残り15筆（約750㎡）で、その箇所の用地取得と街路工事が残事業となる。						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	一部において用地補償交渉が難航したため、事業進捗の遅れとなった。未買収用地については、引き続き任意交渉を進めていく。						
施設の構造や工法の変更等	特になし。						
対応方針	事業継続						
対応方針決定の理由	用地買収も残りわずかであることから、現計画の推進が効率的である。						
事業概要図							



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。